



岐阜聖徳学園大学
岐阜聖徳学園大学短期大学部

教育学部／外国語学部／経済情報学部
看護学部／短期大学部

参加申し込み・お問い合わせ

岐阜聖徳学園大学短期大学部幼児教育学科
〒500-8288 岐阜市中鷗1-38

大会前日まで E-mail hoiku@shotoku.ac.jp

大会当日 TEL 058-278-0711 (岐阜キャンパス代表)

短期大学部イベント一覧 <http://www.shotoku.ac.jp/tanki/list.php>

子どもがいきいきするために
～コロナ禍の保育とコロナ後の保育の展望～

岐阜 保育研究会

第21回大会

日時
2021年
11月27日(土)

会場
オンライン開催

詳細はこちら



主催: 岐阜聖徳学園大学短期大学部幼児教育学科／岐阜保育研究会
後援: 岐阜県／岐阜県教育委員会／岐阜市／岐阜市教育委員会／岐阜県社会福祉協議会

岐阜保育研究会 第21回大会

会期 2021年11月27日(土)

会場 オンライン開催

目次

- 01 ごあいさつ
- 02 大会プログラム
- 03 特別講演のお申し込みについて／グループセッションのお申し込みについて
- 04 オンライン会場への入室について／Zoomで講演やグループセッションに参加するには
- 05 参加の皆様へのお願い

特別講演

- 06 講演「コロナ禍の保育とコロナ後の保育の展望」
- 08 グループセッション
- 09 令和3年度 保育者のための実践講座

子ども(親子)向け企画

- 10 あそびひろば

ごあいさつ

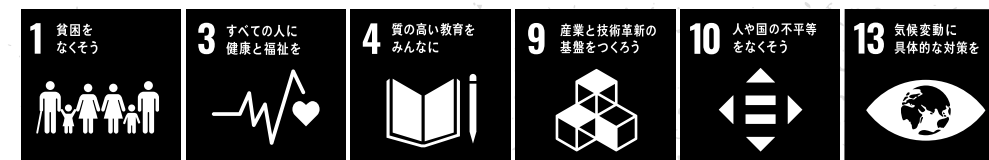
岐阜保育研究会第21回大会
実行委員長 徳広 圭子

昨春から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を奮っていますが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。昨年度は中止とさせていただいた岐阜保育研究会第21回大会ですが、今年度は11月29日(土)にオンラインで開催することになりました。第20回大会までは、本学岐阜キャンパスで開催していましたので、大会当日は多くの皆様と直接お会いし、にぎやかな秋のひとときを過ごしてまいりました。今年はそれが叶わず寂しい思いもしますが、参加してくださる皆様の安全・安心を第一に考えましたこと、ご理解いただければ幸いです。

今大会は「子どもがいきいきするために～コロナ禍の保育とコロナ後の保育の展望～」をテーマとし、特別講演や保育者のための実践講座、あそびひろばを企画しました。「特別講演」は、東京大学発達保育実践政策学センター准教授の野澤祥子先生をお招きします。野澤先生は発達心理学や保育学を専攻され、乳幼児の発達と保育の実践・政策に関する研究に従事されてきました。また新型コロナウイルス感染症に伴う乳幼児の保育・生育環境の変化に関する調査にもいち早く参画され、大会当日は今後の幼児教育・保育・子育て支援へのご示唆をいただけることと思います。この講演を受けて、幼児教育や保育、地域子育て支援、社会的養護等に従事されている幼稚園教諭や保育士、保育教諭、地方自治体のみなさまと本学教員が「グループセッション」を行い、コロナ禍での幼児教育や保育について理解を深めたいと思います。

また本学教員が保育者のみなさまとともに保育について考える「保育者のための実践講座」は、今年度9講座を開催し、そのうちの3講座を大会当日に行います。さらに例年は、本学岐阜キャンパス体育館を使って本学幼児教育学科の学生が地域の子どもや保護者のみなさまを対象として、これまでの授業や実習での学びやゼミでの研究等を活かした「あそびひろば」を計画・運営してきましたが、今年度はあそびの動画を作成しました。これらを通じて、持続可能な開発目標(SDGs)が目指す「誰一人取り残さない」社会の実現にも寄与していきたいと考えています。

岐阜保育研究会が大会をオンラインで開催するのは、この第21回大会が初めてです。そのため至らない点も多々あるかと思いますが、実行委員一同が心を込めて準備し、みなさまとお会いできることを楽しみにしています。ぜひお誘い合わせの上、ご参加くださいますよう、お願いいたします。



大会プログラム

11月27日(土)

保育者／一般向け

10:00～11:30 保育者のための実践講座 →P.9

講座7「保育者のためのブラッシュアップ・ピアノレッスン」

講座8「社会的養護における子どもの権利擁護」

講座9「持続可能な未来に向けて保育を考える」

※申し込みは終了しました。

13:00～14:30 特別講演 →P.6

コロナ禍の保育とコロナ後の保育の展望

野澤祥子氏(東京大学発達保育実践政策学センター准教授)

※一般参加できます。(要申し込み)

14:45～16:00 グループセッション →P.8

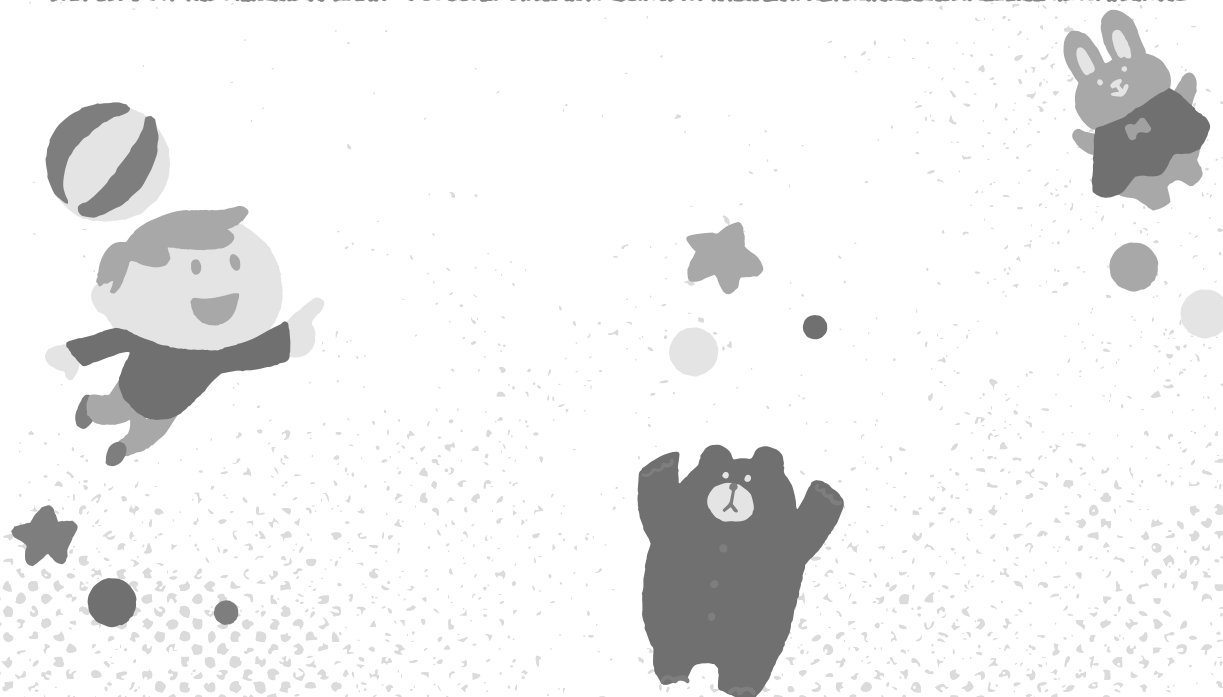
※保育者等の専門職に限ります。(要申し込み)

11月27日(土)～12月24日(金)

子ども(親子)向け

あそびひろば →P.10

●いずれもオンラインで行います。



特別講演のお申し込みについて

開催日時 2021年11月27日(土) 13:00～14:30(参加費無料)

※特別講演はライブ配信のみとなります。大会開催後のオンデマンド配信は行いませんので、ご了承ください。

●特別講演については、幼稚園や保育所等で働いておられる方だけでなく、子育て中の保護者のみなさま、幼児教育・保育に関心を持っておられる高校生など、幼児教育・保育・子育て支援に関心のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。

●下記のURLにアクセスしていただき必要事項を記入の上お申し込みください。参加のお申し込みにあたりご提供いただいた個人情報は、本研修会の運営・管理の目的に限って使用します。セキュリティ上、複数の方での視聴や参加URL等を他者と共有することは固く禁じます。申し込み期限は、2021年11月14日(日)です。



<https://ws.formzu.net/dist/S78477686/>

●本学のホームページにアクセスしていただき、短期大学部のページに進んでいただき、「岐阜保育研究会 岐阜聖徳学園大学短期大学部」をクリックしていただきますと、令和3年度岐阜保育研究会「保育者のための実践講座」「第21回大会」の詳細についてご案内しております。

グループセッションのお申し込みについて

開催日時 2021年11月27日(土) 14:45～16:00(参加費無料)

※グループセッションはZoomを用いたリアルタイム型の実施となります。大会開催後のオンデマンド配信は行いませんので、ご了承ください。

●グループセッションについては、幼稚園、保育所、認定こども園、児童館、地域子育て支援拠点、社会的養護関係施設などに勤務されている方、地方自治体で幼児教育・保育を担当されている方、幼児教育・保育の研究者に限定させていただきます。ご理解いただけますようよろしくお願い申し上げます。

●下記のURLにアクセスしていただき必要事項を記入の上お申し込みください。参加のお申し込みにあたりご提供いただいた個人情報は、本研修会の運営・管理の目的に限って使用します。セキュリティ上、複数の方での視聴や参加URL等を他者と共有することは固く禁じます。申し込み期限は、2021年11月14日(日)です。



<https://ws.formzu.net/dist/S54246995/>

●本学のホームページにアクセスしていただき、短期大学部のページに進んでいただき、「岐阜保育研究会 岐阜聖徳学園大学短期大学部」をクリックしていただきますと、令和3年度岐阜保育研究会「保育者のための実践講座」「第21回大会」の詳細についてご案内しております。

Zoomで講演やグループセッションに参加するには

- Zoomは、米国Zoom社が提供するビデオ会議・ウェブセミナーのためのアプリケーションです。Windows、Macのいずれのパソコン用にも無償でアプリが用意されています。ご自身のZoomのアカウントがない場合でもご参加いただけます。
- スマートフォンやタブレット端末でも接続は可能で、視聴するだけならスマホ・タブレットでも可能です。ただ、発言やチャットに書き込む場合は、パソコンからアクセスいただいた方が操作も簡単です。
- iPhoneやAndroid等のスマートフォンから参加される場合は、事前にAppStoreストアまたはGooglePlayでZoomを検索し、「Zoom Cloud Meetings」をインストールのうえご参加ください。パソコンからアクセスする場合は、アプリのインストールをしていただくかなくてもご参加いただけます。
- 「保育者のための実践講座」や「グループセッション」にご参加の方は、マイクを使ってお話しいただいたり、チャット等の機能をお使いいただく場面が出てきますので、パソコンでの参加をお勧めします。
- ノートパソコンにはたいていスピーカーとマイク、カメラが内蔵されていますが、デスクトップ機の場合には別途カメラ・マイクなど機材を用意する必要があります。
- 接続帯域(速度)が十分確保できる環境でご参加ください。また、有線LANでの接続を推奨します。ポケットWi-Fiやスマホとのテザリング、帯域制限された低速回線などでは通信が不安定となり、画面が不鮮明に表示されたり、音声途切れてしまったりするなどのケースが発生します。

オンライン会場への入室について

- 特別講演およびグループセッションについては、2021年11月25日(木)17時までにオンライン会場のURL、ミーティングID、パスコード、配布資料等を申し込み時に記載されたメールアドレスへお知らせいたします。メールが届かない場合、26日(金)17時までにhoiku@shotoku.ac.jpへご連絡ください。
- 時間になりましたら、URLをクリックしていただくか、ミーティングIDとパスコードを確認し入力してください。オンライン会場は、開始20分前にはアクセスしていただけます。
- 当日オンライン会場へ入室した後、Zoom上で表示される名前を「氏名(所属)」と設定してください。
例:聖徳はなこ(岐阜聖徳学園大学短期大学部)
- 特別講演およびグループセッションについては、オンライン会場にて事前にリハーサルの時間を設けます。実際にシステムを使用できますので、オンライン会議に初めて参加される方やZoom操作に不慣れな方はぜひご参加ください。参加方法については、後日お申込みいただいたメールアドレスにお知らせいたします。

参加者の皆様へのお願い

- 特別講演やグループセッション、実践講座中の録音・録画、撮影、および配信、資料の複写・転載、内容に関するSNS等への投稿は固く禁止します。また参加のためのURLやID、パスワードの再配布も禁止します。
- 接続数に限りがあるため、複数のデバイスを使っての同時接続はしないでください。進行上必要な場合は司会者、サポートスタッフの判断で、参加者のマイクやカメラ、画面共有などを強制的にオフにする場合があります。ご了承ください。
- 当日、システムトラブル、通信環境・接続不具合等のトラブルが生じた場合は、各自でご対応ください。本会ではその責を負いかねます。



コロナ禍の保育とコロナ後の保育の展望

講師：東京大学発達保育実践政策学センター准教授 野澤 祥子 先生

2013年、東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。
博士(教育学、東京大学)。

東京家政学院大学准教授を経て、2016年より東京大学大学院教育学研究科発達保育実践政策学センター准教授。

内閣府「子ども・子育て会議」委員、厚生労働省「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」委員も務める。

専攻は発達心理学・保育学。とくに、乳幼児の発達、保育の実践と政策に関わる研究を行っている。

目下、男女2人の子育て中。

主な著書として、『歩行開始期の仲間関係における自己主張の発達過程に関する研究』（風間書房、2017年）、『園づくりのことは：保育をつなぐミドルリーダーの秘訣』（共著、丸善出版、2019年）、『自園で新型コロナウイルスの感染者が出たとき：事例に学ぶ 保育園・幼稚園・こども園ですぐにすること・日頃から備えておくこと』（共著、日本保育者支援協会、2020年）他多数。



新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が世間を騒がせ始めて、すでに1年半が経過しています。この間、保育現場の皆様、保護者の皆様は、感染予防対策をしながら子どもたちの豊かな育ちを願って、保育や子育てを実践されてきたと思います。本当に頭が下がります。

私が所属する東京大学の発達保育実践政策学センターは、2020年4月～5月の1回目の緊急事態宣言時に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について緊急調査を行いました。その調査の中では、混乱の状況の中で感染予防対策と子どもたちの生活や発達の保障に尽力されている保育者の方々の声、保育所が休園になったり、登園自粛を求められたりする中で、保護者の方々の悲鳴のような声がたくさん挙げられました。そうした声からは、普段、園がどれだけ保護者の助けになっているか、コロナ禍の中でも保育者の方々がいかに子どもたちや保護者に寄り添おうとしているかが窺われました。

保育の現場で

その後も、保育者の方々からたくさんの貴重な声を伺いました。

その中で特に印象的だったことは、「保育者がたくさん考えるようになった」ということです。もちろん、これまでも、園では様々な配慮をしながら保育を実践されてきたと思います。しかし、コロナ禍では、今までの保育のあり方を大きく変えることを余儀なくされました。卒園式や入園式、運動会や発表会などの行事、日常の保育の中でも水遊びや散歩などの活動を、実施するのか、実施しないのか、実施するとすればどういう形で実施するのか、保護者にはどのように伝えるか・・・など、多くの事柄を改めて真剣に考える必要が生じました。保育者や保護者の中には「いつも通りにやりたい、やってほしい」という意見もあれば、「感染予防のために中止や縮小をすべき、中止してほしい」という意見もあるでしょう。

そうした中で例年通りにできないということを、保育の「変革」のチャンスにした園もたくさんあったようです。行事や活動を、保護者目線や保育者目線ではなく、子ども目線で改めて考えて実施する機会になったというお話も伺いました。

これからの保育

保育は、子どもの育ちと保護者の子育てを支える大切な営みです。コロナ禍ではそれが改めて浮き彫りになりました。そして、「今、ここ」の瞬間を生き、育っていく子どもたちのために、様々な制約の中でも柔軟に保育を考え、実践し、学び続ける保育者の存在こそが、保育における大事な価値だと実感することができました。

ただし、一方で、コロナ禍では、これまで保育の中で大切にされてきた異年齢での活動、保育者同士の対話、保育者と保護者のかかわりや保護者同士の交流、地域の人々や近隣の園・小学校などとの交流が難しい状況が生じていることも事実だと思います。そうした交流を断つことなく、多様な人と人とのつながりの中で子どものウェルビーイングと育ちを支える保育の可能性を改めて考えていきたいと思っています。



グループセッション

野澤先生の特別講演を踏まえ、保育者のみなさまと本学教員で「コロナ禍の保育」について情報共有し、「コロナ後の保育」を展望したいと思います。

当日は、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使って、みなさまと本学教員がグループに分かれて、それぞれディスカッションします。そしてその様子をグループごとに発表していただき、明日からの保育実践に活かしていきましょう。

なおこのグループセッションは、幼稚園、保育所、認定こども園、児童館、地域子育て支援拠点、社会的養護関係施設、地方自治体で幼児教育・保育を担当されている専門職や研究者のみなさまに限定させていただきます。お申し込み方法については、3ページをご覧ください。

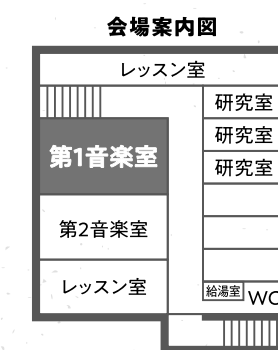
令和3年度 保育者のための実践講座

11月27日(土)

保育者のための実践講座 7

10:00~11:30 保育者のためのブラッシュアップ・ピアノレッスン

担当：阪田 順子 会場：実技館2階 第1音楽室



日頃から現場でピアノなどの鍵盤楽器を弾いておられる保育者の方々から、ピアノのブラッシュアップをしたいと要望がありました。毎日がお忙しく、なかなか練習をする間もないまま何となく、ということに物足りなさを感じておられる先生は少なくないようです。けれど、レッスンを受けるとなると毎週毎月はちょっとしんどい、年に1回でもアドヴァイスを受けられたらいいな、というご希望から今回の講座を計画いたしました。レベル、経験年数等は全く関係ありません。勇気を出してご参加下さい。マンツーマン指導を行います。

保育者のための実践講座 8

10:00~11:30 社会的養護における子どもの権利擁護

担当：藤田 哲也 会場：オンライン開催

社会的養護の下で暮らす子どもたちは入所前にどのような生活を送ってきたのでしょうか。現在、児童福祉施設では子どもの生き立ちを整理する取り組みが始まっていると思います。本講座では、生き立ちの整理に関する事例をもとに、取り組みの中で浮き彫りとなった課題をふまえ、準備から実践までより良い方法を考えていく時間にできればと思います。

保育者のための実践講座 9

10:00~11:30 持続可能な未来に向けて保育を考える

担当：木戸 啓絵 会場：オンライン開催

今なぜ「SDGs」や「持続可能な社会」が話題となっているのでしょうか。ユネスコをはじめとした国際的な流れを押さえながら、持続可能な未来に向けた保育の在り方について考えます。当日は、ドイツの森の幼稚園の事例なども紹介する予定です。グループディスカッションなども取り入れながら、参加者のみなさんとの議論を楽しみたいと思っております。

※この3講座は受付を終了しています。

あそびひろば

配信期間 2021年11月27日(土)~12月24日(金)

本学の幼児教育学科の学生が中心になって企画した「あそびひろば」の動画を配信します。今までの授業や実習での学びと、ゼミでの研究を活かして、さまざまな遊びを企画・撮影しました。どなたでもご自由にご視聴いただけますので、子ども達はもちろん、ぜひ親子でもお楽しみください。

企画紹介 ※動画の内容は変更される場合があります。

①親子でつくろう わくわく しゅわしゅわ バスボール (安部ゼミ)

簡単にできちゃうバスボールの作り方を紹介します!おうちの人と一緒に、自分だけのバスボールを作ろう!バスボールの中に好きなものを入れてみるのもいいかも…!?

②おうちでつくる くりすます (石田ゼミ)

みぢか な ざいりょう を つかって おうちで つくって あそぶ くりすます ぱーてい だよ!

③もによもによ ぶよぶよ (大西ゼミ)

みんなはどんなものがすきかな?
みて たのしい。つくって たのしい さわって たのしい…
おにいさん、おねえさんと、おうちにあるもので、いっしょにつくってみよう!

④スライムをつくろう (糟谷ゼミ)

スライムをつくってあそびます。まぜてコネコネ、ふわふわ、ぶるぶる、さわるときもちいいよ。

⑤野菜・果物の普段捨ててしまうところを使って作ろう、あそぼう! (木戸ゼミ)

私たちは授業の中で、「SDGs」や「気候変動」について学びました。その中で、今地球でさまざまなことが起こっていることを知りました。そこで地球を守るため、普段料理をした際に使わないゴミになってしまう「野菜や果物のヘタ、皮など」を使い何かできないかを考えました。今回は、この普段捨ててしまうヘタや皮を使ってハンカチ染めと料理を紹介したいと思います。誰でも、身近なもので簡単に楽しくできるので、ぜひ一緒に作ってみましょう。

⑥世界のリズムを感じてみよう (木許ゼミ)

世界中には、数えきれない音楽のリズムが存在します。そして、国や地域によってそのリズムは違います。また、リズムを打つ楽器も違います。今回の企画は、様々な国や地域で発達したリズムを表現しながら、みなさんと感じていきたいと思います。

⑦やってみよう! 造形あそび (齋藤ゼミ)

みんなは何に変身する? 動物。虫。おもしろい顔かな?
家族で「変身ごっこ」ができる造形遊びを2つ紹介します。つくるときは、変身することを想像し、「わくわく」する気持ちを大切にしましょう。遊ぶときは、お家の人を笑わせたり、驚かせたりして楽しみましょう。
動画1「おもしろいマスクで大変身」。動画2「つくって。かぶって。あそぼう!」

⑧切り絵とオルガニート (阪田ゼミ)

切り絵:工作でハサミを使える幼児以上を対象に、日本の伝統的な切り絵細工の作り方を説明し、模様の説明、日本伝統紋の世界をお見せいたします。
オルガニート:映像を通しての音になりますが、伝えられる限りオルガニートの優しい音色をお届けいたします。音の出る仕組み、精密機器の取り扱い方、実際の奏で方、アンサンブルの可能性までご説明いたします。

⑨親子で楽しく取り組める運動遊び (内藤ゼミ)

子どもたちに必要とされる一日の運動遊び時間は、園と家庭を合わせて60分以上とされています。しかしながら近年は、園から帰宅後や休日に家庭で活発に体を動かして遊ばない子どもたちが増えており、そのことで、身体活動量の低下や基本的動作の未成熟が問題視されています。そこで本企画では、家庭の室内や公園等で親子で一緒に楽しく遊べる運動遊びを動画で紹介いたします。

⑩子ども向けミュージカル「オズの魔法使い」 (長川ゼミ)

子ども向けの楽しいミュージカルです。アメリカのカンザスシティに住んでいるドロシーは、たつまきにあい、オズの国に飛ばされてしまいました。お家に帰れるよう、オズの王様のもとに頼みに向かいますが…。はたしてドロシーは無事にお家に帰れるのでしょうか。途中で仲間になったライオン、ブリキ、カカシは、それぞれの願いをかなえられるのでしょうか。ドロシーたちの大冒険の物語を、学生たちの歌声でお楽しみください。

⑪天まで届け「ペットボトル・ロケット」 (藤田ゼミ)

エコな材料で簡単に作れるペットボトル・ロケット!
準備は不要!! 家にあるもので楽しく作れちゃう!

視聴方法

- 以下のURLかQRコードから直接アクセスしてください。あるいは、岐阜聖徳学園大学短期大学部ホームページにあります「岐阜保育研究会」のバナーからも該当ページにアクセスすることができます。



http://www.shotoku.ac.jp/tanki/asobi_hiroba.php

※動画内のテキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。



岐阜聖徳学園大学短期大学部

幼児教育学科 第一部

幼児教育学科 第三部

JUNIOR COLLEGE



学科の詳しい
情報はこちら

学びのポイント

子どもと保護者に寄り添う保育者の養成。

第一部では2年間で集中して学び、子どもの個性を育む保育力を養成します。第三部では3年間でじっくり学び、保育の知と技を高めます。いずれの部も独自の施設・設備や地域との強いネットワークにより、さまざまな実習や子育て支援の経験を積める機会が豊富で、保育の実践力を身に付けます。幼稚園教諭二種免許状、保育士（保育士証）等の取得も手厚くサポートします。

ポイント 01 | 本学ならではの授業スタイルや充実の施設。

保育者に必要な知識や技術、実践力を確実に身に付けることができるように、教科ごとに授業形式を工夫しています。「保育内容（音楽表現）」では、授業を半分に区切り、理論と実技を45分ずつ学ぶという独自のスタイルで授業を行います。施設では、常設人形劇場のある児童文化実習室をはじめ、個室のピアノ練習室などが充実しています。岐阜キャンパス内の地域子育て支援センター「くれまちす」は、社会貢献活動であると共に学生の学びの場にもなっています。



ポイント 02 | 理想の進路につながる、幅広い学外実習。

幼稚園、保育所（園）、認定こども園、養護施設、障がい者施設など、学外のさまざまな施設と連携して、豊富な実習を実施。学生は将来の目標に応じて、教員や各連携施設とも相談の上、実習先を選びます。また、実習経験をより充実させるため、事前に施設を見学する機会も用意。希望する進路に最適な環境で、目的意識を持って実習に臨むことで、より将来に結び付く保育力を身に付けることができます。



ポイント 03 | 手厚い資格取得・就職支援。卒業後もキャリアをサポート。

1年次（第三部は2年次）の前期から、資格取得講座や就職対策講座、複数回の個人面談を実施するなど、手厚い資格取得・就職支援を行います。卒業前には岐阜県・愛知県内の幼稚園、保育所（園）、認定こども園と本学によって組織される「聖徳会」で幼・保新任者研修会を行い、いち早く現場に溶け込めるように支援しています。卒業後も、中堅保育者研修会などでキャリアアップをサポートします。



GIFU SHOTOKU GAKUEN UNIV.

岐阜保育研究会第21回大会実行委員会

実行委員長

徳 広 圭 子 ○

実行委員（五十音順）

安部日珠沙 ○

石 田 開

大 西 薫

糟 谷 咲 子 ○

木 戸 啓 絵 ○

木 許 隆

熊 田 武 司

齋 藤 正 人

阪 田 順 子

田 中 享 胤

内 藤 譲

長 川 慶 ○

蜷 川 祥 美

藤 田 哲 也 （以上 短期大学部教員）

協力委員（五十音順）

江 口 廣 晃 （法人本部総務部情報課）

松 原 修 次 （入学広報課）

山 田 晃 ○ （岐阜教務課）

○企画委員

岐阜保育研究会第21回大会 要項集

発行日 2021年9月

発行者 岐阜聖徳学園大学短期大学部・岐阜保育研究会

事務局 岐阜聖徳学園大学短期大学部

〒500-8288 岐阜市中鷺1-38 Tel. 058-278-0711（代表）